

令和2年度 学校評価アンケート結果からの考察

【基礎的・基本的な知識・技能】

①学校の勉強はわかりやすい。(子どもは学校で、ていねいに教えてもらっている。)

- ・児童95%、保護者100%、学校95%が「はい」と答えた。
- ・わかりやすいということは、わかっているという捉え方ができる。概ね基礎的・基本的な知識・技能の習得ができており、学習の成果があったと思われる。

②学校の勉強は楽しい。(楽しく勉強をしている。)

- ・児童98%、保護者100%、学校100%が「はい」と答えた。
- ・学習の内容を理解し、主体的に学習に臨んでいるのではないかとと思われる。
- ・児童が興味を持つような指導の工夫が行われているのではないかとと思われる。

③自分の(子どもは)意見や考えを進んで発表している。

- ・児童72%、保護者84%、学校74%が「はい」と答えた。
- ・今までも本校児童の課題として挙げられてきている。自分の考えをもてないのか。自分の考えに自信がないのか。自分の意見を伝えることが苦手なのか。個々の課題を明確にし、個別の取り組みを全体の取り組みとともに行うと、さらに課題の達成につながるのではないかとと思う。来年度は、児童の取り組みの重点課題として進める予定である。

【健康で生活をする力】

④学校で楽しく過ごしている。

- ・児童98%、保護者99%、学校100%が「はい」と答えた。
- ・ほとんどの児童が学習や友だち関係において、大きな悩みやストレスがなく学校生活を楽しくしていると思われる。
- ・集団生活においてトラブルがないということは考えられない。トラブルが起きないように気をつけることだけではなく、大切なことは、児童が“自分たちで解決できる力を付ける”ことである。
- ・「はい」と答えなかった1、2名の児童については、その原因が一時的なものなのかどうか、その原因は何かを把握し、対応が必要である。

⑤心を込めてあいさつをしている。

- ・児童 86%、保護者 91%、学校 53%が「はい」と答えた。
- ・あいさつ日本一を目指す学校としては、もう少し頑張ってもらいたいということで学校の評価が低いと思われる。
- ・今年度は、コロナ感染防止のために大きな声での挨拶を制限し、心を込めることに視点をしていたが、その方法についても子どもたちに考えさせてみたいと思う。

⑥病気になったり、けがをしたりしないように気をつけている。

- ・児童 91%、保護者 98%、学校 67%が「はい」と答えた。
- ・家庭では概ね達成できているが、学校では、まだまだ課題が残っている。
- ・コロナ感染防止対策が必要な一年であったが新しい生活様式にも慣れ、マスクの着用、手指の消毒についてはしっかり行えている。しかし、3密に関しては、休み時間に友だちと密着している姿をよく見かけることが、課題としてあがっている。
- ・マスクの着用、手指消毒をしっかりと行ったことが功を奏し、インフルエンザに感染する児童、職員はほとんどみられなかった。
- ・ケガをする児童も例年よりかなり少なかった。

【自他を尊重する力】

⑦友だちや周りの人にやさしくしている。

- ・児童 95%、保護者 100%、学校 96%が「はい」と答えた。
- ・人権教育やなかまづくりにおいて、その根本である「自他を大切にする気持ち」をたくさん子どもたちが持っていることは、とても嬉しいことである。
- ・今年度はコロナが蔓延し、世間ではコロナ感染者やその家族、医療従事者に対して偏見をもったり、差別が起きている。その様なことがないように、本校ではコロナ禍の中で頑張っている人たちに目を向けさせ、児童に指導を行っている。

⑧自信を持ってやれる得意なことがある。

- ・児童 92%、保護者 92%、学校 80%が「はい」と答えた。
- ・多くの児童には何らかの得意なことがあり、その自信が自尊感情につながっていると思う。。
- ・苦手なことは誰にでもあるので、そのことに劣等感を感じるのではなく、できないことはお互い支え合うようにすればよい。
- ・得意なことは率先して行えば、自己有用感にもつながる。

【時間と決まりを守れる力】

⑨学校の決まりや約束を守っている。

- ・ 児童 91%、保護者 83%、学校 77%が「はい」と答えた。
- ・ 児童と保護者・学校との差が大きかった。これは、特に学校生活において、時間を守ること、約束を守ることに対しての意識が低いため、守れていないことに気づけていないのではないかと思う。今後の学校生活の中で、このことに対して自他を振り返り、改善をしたい。

【進んで運動に取り組む力】

⑩運動場で遊んだり、体育をしたり、体を動かすことが好きである。

- ・ 児童 91%、保護者 92%、学校 100%が「はい」と答えた。
- ・ 運動を好きな児童が多いことがわかる。本校では、芝生の運動場、業前のかげ足や縄跳びの取組など、運動に関わる機会を多くもち、体力づくりを行っている。

【正しく判断し、行動する力】

⑪ごまかしたり、うそをついたりしない。

児童 90%、保護者 69%、学校 80%が「はい」と答えた。

⑫良いことと悪いことがわかる。

児童 97%、保護者 100%、学校 96%が「はい」と答えた。

- ・ 善悪の判断力については、3者とも高い評価であり、児童に身につけているといえる。
- ・ 判断はできていても正直になれない時が見受けられる。
- ・ 叱られるのが嫌で、その場をやり過ごすために正直に言わないのであると思うが、自分の行動は自分自身で正す正義感を大切にしてもらいたい。
- ・ 子どもたちが素直に間違いをたやすために、私たちは失敗したことを叱るのではなく、理由を聞き対策を考えさせ、次の成功に導くようにすることが大切である。

【その他】

《児童アンケート》

⑬先生はよく話を聞いてくれる。

- ・ 児童の 99%が「はい」と答えた。
- ・ 子どもたちの相談を先生がしっかり受け止めて対応していることがわかる。学校生活での不安解消やトラブル時の早期対応につながっていると思う。今年度、子どもたち同士の大きなトラブルがほとんどなかったこととも関係があると思われる。

《保護者・学校アンケート》

⑬学校は、保護者や地域と協力して教育活動を行っている。→ 保護者99% 学校96%

⑭学校は、保護者に様子や情報を伝えている。→ 保護者100% 学校100%

⑮学校は、子どもの相談をきちんと聞いてくれる。→ 保護者99% 学校100%

・保護者が、学校の教育活動に理解をし信頼してくれていることは、大変嬉しく力強いことである。事実、今年度のコロナ禍での学校としての対応について、全面的に理解と協力を得ることができた。まさに“ピンチはチャンス”として、学校と保護者とが、よりつながり合えた一年だったと感じている。

(家庭でのこと)

⑯家庭では、「早寝、早起き、朝ごはん」を心がけている。→ 保護者96%

⑰家庭では、子どもとよく話をしている。→ 保護者99%

⑱家庭では、子どもに忘れ物をしないように声をかけている。→ 保護者93%

・家庭教育の意識が高く、そのことは、子どもたちが落ち着いて日常生活を送ることにつながっている。